

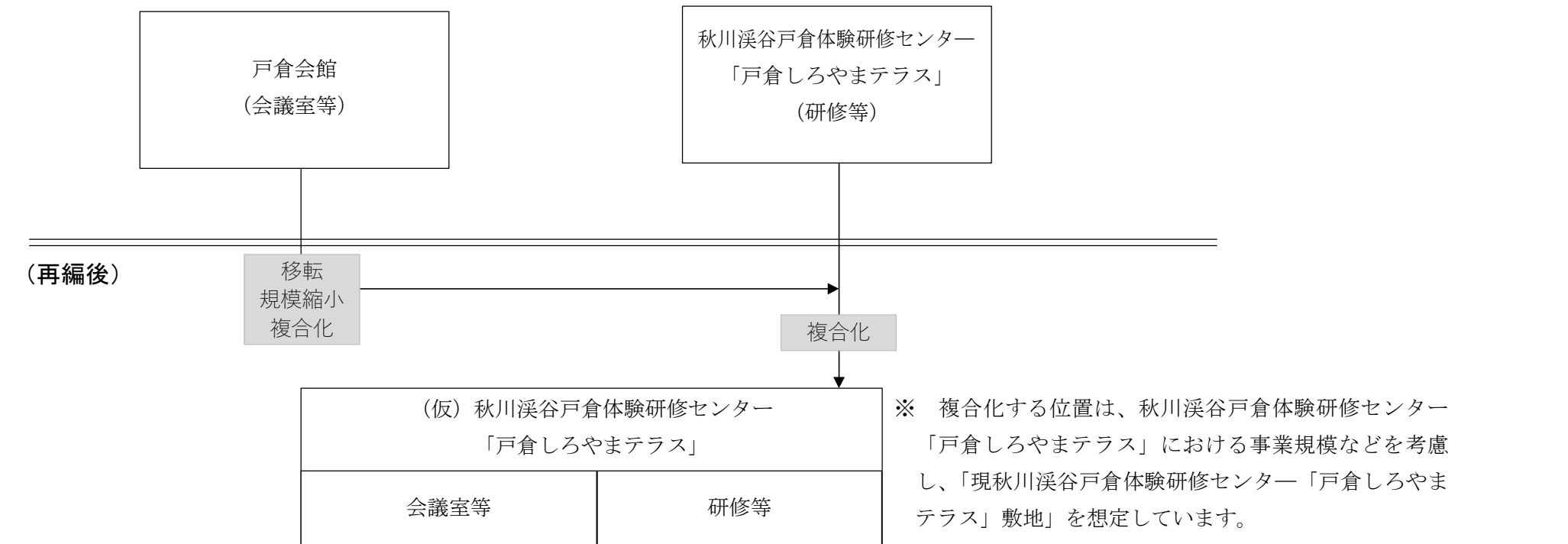
戸倉会館と秋川溪谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラス」の再編等の考え方

1 概要

- 戸倉会館を秋川溪谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラス」に移転し、秋川溪谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラス」を規模縮小・複合化する方針を定めます。
- ※ 複合化する位置は、秋川溪谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラス」における事業規模などを考慮し、「秋川溪谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラス」敷地」を想定しています。
- ※ 現在の戸倉会館の建物については別途検討します。

2 再編等のイメージ

(現状)



3 再編等の方向性の内容（施設ごと）

個別施設計画を基に再編等の方向性の選択肢を設定し、「①床面積の縮減の度合い」「②利便性への影響の度合い」「③機能重複の解消の度合い」「④コストの低減の度合い」「⑤避難所、投票所などの重要な機能への影響の度合い」を評価し、採用する再編等の方向性を選定しました。

施設名称	個別施設計画を踏まえた 再編等の方向性		再編等に関する実施計画（案）		
	選択肢 1	選択肢 2	採用した 再編等の方向性	同時に行う対応	理由など
戸倉会館	移転・規模縮小・複合化 （近隣の秋川溪谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラス」の既存建物に戸倉会館の機能を移転し、規模縮小して複合化）	移転・規模縮小・複合化（新建物） （秋川溪谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラス」と戸倉会館の機能を複合化した建物を新たに設置（両施設とも規模縮小））	移転・規模縮小・複合化	—	「移転・規模縮小・複合化」が「移転・規模縮小・複合化（新建物）」と比較して、「④コストの低減の度合い」の評価が高かったことから、再編等の方向性として採用しました。 ※ 現在の戸倉会館の建物については別途検討します。
秋川溪谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラス」	複合化 （近隣の戸倉会館の機能を移転させ、複合化）	移転・規模縮小・複合化（新建物） （秋川溪谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラス」と戸倉会館の機能を複合化した建物を新たに設置（両施設とも規模縮小））	複合化	—	「複合化」と「移転・規模縮小・複合化（新建物）」を比較したところ、「複合化」は「④コストの低減の度合い」の評価が高く、「移転・規模縮小・複合化（新建物）」は「①床面積の縮減の度合い」の評価が高く、結果的に同等の評価となりました。しかしながら、長寿命化改修の時期（R26）までに期間があることから、「複合化」を再編等の方向性として採用しました。

■再編等に関する実施計画

令和7年12月

施設棟番号	B-11		所管部署	総務部	地域防災課	地域安全係
施設分類	大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	小分類	コミュニティ会館
施設名称	戸倉会館					
所在地	あきる野市戸倉133-4				敷地面積(㎡)	496
延床面積(㎡)	282.44	構造	RC造	建築年度	平成元	経過年度 36

計画期間	令和8(2026)年度～令和17(2035)年度					
①事業の概要	<p>設置根拠：あきる野市コミュニティ会館条例 設置目的：地域住民の連帯意識を高め、生活文化の向上を図ることを目的とする。 対象者：限定しない。 サービスの概要：趣味やサークル活動、コミュニティ活動などを行う場として、会議室等を貸し出す。</p>					
②事業の現状	<p>・一般団体で定期的に利用している団体はなく、利用件数は少ない。主な利用は、自治会や地元団体による会議等である。 ・利用者は、管理人へ電話し仮予約後、紙の申請書において利用申請している。</p>					
③将来的な事業のあり方(方向性)	<p>・今後、更に高齢化が進む中で、全ての利用者に利用しやすい環境(ハード面、ソフト面)を整備し、高齢者のコミュニティ活動や地域コミュニティ(自治会)の活動の場を確保する。 ・利用申請のデジタル化と電子決済を導入し、利用者の利便性向上や管理人の貸出業務の負担軽減、職員の納入事務処理の負担軽減を図る。 ・令和2年度と令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う公共施設の利用制限のため、臨時休館または営業時間の短縮などを行った。</p>					
④事業の課題	<p>・高齢者が利用しやすい施設への改修(エレベーターの設置、和室のフローリング化(机と椅子での施設利用が出来る)などのバリアフリー化) ・会館の管理業務の効率化(デジタル化の推進等) ・施設の老朽化</p>					

⑤個別施設計画 における施設の 再編等の方向性 （令和3年6月 時点）	再編等の方向性	移転・規模縮小・複合化／移転・規模縮小・複合化（新建物）								
	保全の方向性及 び実施時期の目 安	大規模改修	令和10	建替え 又は 長寿命化改修	令和31	長寿命化後の建替え	—	（参考）建替え時 築年数	60	
⑥再編モデル案 検討のための施 設特性整理	利用対象	市民一般			備考	・利用者は主に市民であるが、市民以外の利用も可能。				
	需要傾向	利用需要上昇傾向				・コロナ禍のため減少したが、徐々に回復し、令和6年度は コロナ禍前の水準に戻っている。一般利用者の利用はほとん どなく、免除団体の利用が多い。				
	規模適正度	余剰スペースあり				・利用団体がニーズに合わせて部屋を選択している。使 用頻度は少ないものの、全ての部屋の利用がある。				
	建物活用	多目的利用検討可能				○	・指定緊急避難場所として登録されている。			
		複合化・集約化によるサービス 水準の向上が期待される				○				
		設置目的と異なる使用状況あり				×				
		単独機能での建物利用が望ましい				×				
		賃貸借物件での運営も可能（市有物件で の運営は必須ではない）				○				
		投票所機能				○				
		避難所機能				○				
	敷地所有	市有地								
	都市計画法規制	市街化調整区域								
	利用圏域	市全域								
	広域化可能性	すでに広域化している				・市民以外の利用も可能としている。				
	機能重複度	利用圏域に同種・類似施設があ る（民間施設）				○	・近隣に町内会・自治会の会館がある。 ・市内に、学習等供用施設及びコミュニティ会館が13 施設（戸倉会館を含む）ある。 ・秋川溪谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラ ス」と隣接している。			
		利用圏域に同種・類似施設があ る（国・都・市施設）				○				
		利用圏域に同種・類似施設はな い				×				
⑦施策との関連 性	関連施策	第2次総合計画第3章 第1節1「地域コミュニティの活性化」⑤各種団体の支援⑥地域コミュニティ団体の支援 第2節1「防災・消防対策の推進」①防災施設・設備等の充実 地域防災計画第1編第9章第2節「避難場所及び避難所の指定・安全化」								
	説明	市民等が生涯にわたり、目標を持っていきいきと生活できるよう、地域コミュニティの活性化及び生涯学 習の推進に向け、活動の場を提供する。 災害発生前後において、地域の身近な防災拠点として、指定緊急避難場所に指定されている。								
⑧再編等の方向 性及び修繕・改 修等の考え方	【方向性】				（同時に行う対応）					
	移転・規模縮小・複合化				廃止					
	【再編方針】				【修繕・改修】					
	・戸倉会館を秋川溪谷戸倉体験研修センター「戸 倉しろやまテラス」に移転し、規模縮小・複合化				・再編するまでの間、施設の老朽化や定期的な点検・ 診断結果に基づき、実施する。					
⑨計画実行のス ケジュール	想定実施年度	想定対策内容			想定実施年度	想定対策内容				
	令和8年度以降	・再編等の方向性に沿った具体 的手法の検討			令和8年度以降	・未定 （再編等の方向性に沿った具体的手 法による）				
⑩計画実行に当 たつての留意事 項	・複合化する位置は、秋川溪谷戸倉体験研修セン ター「戸倉しろやまテラス」における事業規模な どを考慮し、秋川溪谷戸倉体験研修センター「戸 倉しろやまテラス」の既存建物に戸倉会館機能を 移転 ・現在の戸倉会館の建物については別途検討				—					
⑪計画実行後の 課題	—				—					

■再編等に関する実施計画

令和7年12月

施設棟番号	D-13		所管部署	商工観光部	観光まちづくり推進課	観光まちづくり推進係
施設分類	大分類	スポーツ・レクリエーション施設	中分類	レクリエーション施設	小分類	
施設名称	秋川渓谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラス」					
所在地	あきる野市戸倉325				敷地面積(㎡)	9,938.73
延床面積(㎡)	2,834.00	構造	RC造		建築年度	昭和59
					経過年度	40

計画期間	令和8(2026)年度～令和17(2035)年度					
①事業の概要	<p>設置根拠：あきる野市戸倉体験研修センターの設置及び管理に関する条例</p> <p>目的：あきる野が誇る自然、歴史、文化等の地域資源を活用した体験の場及び企業、学校等が行う研修の場を提供することにより、将来を担う子どもたちを中心に多様な人材を育成するとともに、地域の活性化を図るため。</p> <p>対象者：市民及び観光客</p> <p>事業概要：体験事業、宿泊事業、飲食事業、展示事業、貸出事業</p>					
②事業の現状	<p>・秋川渓谷観光の拠点施設として、観光客が快適に楽しく過ごせるよう、施設の適正な維持管理・整備を進めている。また、指定管理者が施設の維持管理、施設の貸出、体験研修、宿泊事業、飲食事業及び展示事業を実施し、市との協働による観光推進や地域活性化等を図っている。</p>					
③将来的な事業のあり方(方向性)	<p>・滞在型観光施設として、企業や学校などに体験・研修の場を提供することで地域活性化を図っていく。</p>					
④事業の課題	<p>・建物や設備等の老朽化が顕著であることから、利用者に快適かつ安全・安心なサービスを提供するために適宜対応していく必要がある。</p>					

⑤個別施設計画における施設の再編等の方向性（令和３年６月時点）	再編等の方向性	複合化／移転・規模縮小・複合化（新建物）							
	保全の方向性及び実施時期の目安	大規模改修	平成２７	建替え 又は 長寿命化改修	令和２６	長寿命化後の建替え	令和４６	（参考）建替え時 築年数	８０
⑥再編モデル案検討のための施設特性整理	利用対象	地域振興（観光など）			備考	・自然や文化等の地域資源を活用し、地域の活性化を計ることを目的とした滞在型観光施設である。			
	需要傾向	利用需要上昇傾向				・体験、宿泊、飲食、展示及び貸出の全ての部門において利用者数が増加していることから、利用需要は上昇傾向にあると考える。			
	規模適正度	規模適正				・旧小学校施設を活用した滞在型観光施設であり、校舎や体育館、校庭を研修等に使用している。			
	建物活用	多目的利用検討可能		○		・地域活性化を目的とした滞在型観光施設であることから、単独機能での建物利用が望ましいと考える。観光に見合った新たなサービスの追加は検討可能である。また、複合化することで、施設の有効活用が可能となるが、機能を区分するなどの措置が必要である。災害時における緊急避難場所及び避難所として使用されている。			
		複合化・集約化によるサービス水準の向上が期待される		△					
		設置目的と異なる使用状況あり		×					
		単独機能での建物利用が望ましい		○					
		賃貸借物件での運営も可能（市有物件での運営は必須ではない）		×					
		投票所機能		×					
	避難所機能		○						
	敷地所有	一部借地（有償）							
	都市計画法規制	市街化調整区域							
	利用圏域	広域（複数自治体）				・広域からの観光客等の利用を見込んでいる。			
広域化可能性	すでに広域化している			・広域からの観光客等の利用を見込んでいる。					
機能重複度	利用圏域に同種・類似施設がある（民間施設）		○	・旧小学校施設を活用した滞在型観光施設としては、同様形態の類似施設がある。					
	利用圏域に同種・類似施設がある（国・都・市施設）		×						
	利用圏域に同種・類似施設はない		×						
⑦施策との関連性	関連施策	第２次総合計画まちづくりテーマ５「住み続けたい魅力的なまち」（第２章第３節３－①『観光拠点の魅力アップ整備の推進』）							
	説明	第２次総合計画で掲げる施策推進のために必要な施設である。							
⑧再編等の方向性及び修繕・改修等の考え方	【方向性】				（同時に行う対応）				
	複合化				－				
	【再編方針】				【修繕・改修】				
	・戸倉会館を秋川渓谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラス」に移転し、秋川渓谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラス」を規模縮小・複合化する。				・再編するまでの間、施設の老朽化や定期的な点検・診断結果に基づき、実施する。				
⑨計画実行のスケジュール	想定実施年度	想定対策内容			想定実施年度	想定対策内容			
	令和８年度以降	・再編等の方向性に沿った具体的手法の検討			令和８年度以降	・未定（再編等の方向性に沿った具体的手法による）			
⑩計画実行に当たっての留意事項	・複合化する位置は、秋川渓谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラス」における事業規模などを考慮し、「秋川渓谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラス」敷地」を想定				－				
⑪計画実行後の課題	－				－				